

- 問1 1980年代後半、ソビエト連邦でゴルバチョフによる改革が進められる中で冷戦が終結へと向かいました。この流れの中で、1990年にベルリンの壁の崩壊を経て実現した出来事として正しいものを選択肢から選びなさい。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- ソビエト連邦の結成
 - 南北ベトナムの分断
 - 東西ドイツの統一
 - ワルシャワ条約機構の強化
- 問2 湾岸戦争において日本が行った貢献と、その後の日本の国際貢献のあり方に与えた影響について述べた文として適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- 自衛隊の精鋭部隊を多国籍軍の主力として派遣し、戦闘地域での武装解除を主導した。
 - 日本は一貫して中立の立場を貫き、多国籍軍への支援も経済制裁への参加も一切拒否した。
 - 巨額の資金援助を行ったが、人的貢献がなかったことで批判を受け、後のPKO協力法制定の契機となった。
 - アメリカとの安全保障条約に基づき、日本国内の基地から日本の航空自衛隊が直接爆撃に参加した。
- 問3 第一次世界大戦後の1920年に設立された「国際連盟」が抱えていた、平和維持組織としての課題について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- 常任理事国に強力な拒否権が与えられていたため、大国の利害対立によって組織が機能不全に陥った。
 - 提唱国であるアメリカが不参加であり、意思決定に全会一致を必要としたため、迅速な対応が難しかった。
 - 19世紀以来の国際極年の活動を引き継いだ科学組織であったため、政治的な紛争解決能力が欠けていた。
 - 加盟国すべてに軍隊の供出が義務付けられていたため、かえって各地で武力衝突が拡大した。
- 問4 明治時代初期、岩倉具視を全権大使として欧米諸国へ派遣された「岩倉使節団」の主な目的として、当時の時代背景をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- 仏教を日本へ正式に伝えることで、天皇を中心とした国家体制を宗教的に支えること
 - 兵庫の港を大規模に修築し、宋との貿易を拡大させて平氏政権の経済基盤を強化すること
 - 欧米の先進的な制度や文化を直接調査し、不平等条約の改正に向けた予備交渉を行うこと
 - 新幹線や高速道路などの交通網を全国に整備し、国民所得を倍増させる計画を立案すること
- 問5 1967年に制定された「公害対策基本法」に代わり、1993年に「環境基本法」が制定された主な理由として、当時の社会状況の変化をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- 国際連合人間環境会議の開催を受け、世界に先駆けて二酸化炭素の排出量を半分以上に削減する具体的な数値目標を国内法で義務づけるため
 - 高度経済成長期に発生した四大公害裁判の判決を受け、公害の被害者救済と原因企業の処罰のみに特化した厳しい規制を行う必要が生じたため
 - パリ協定の採択に基づき、国内の環境規制を国際基準に合わせることで、途上国への技術支援を経済政策の柱として位置づけるため
 - 地球温暖化や廃棄物問題など、従来の公害の枠組みだけでは捉えきれない、地球規模の環境問題や循環型社会の構築を視野に入れた対策が求められたため
- 問6 1989年のマルタ会談による冷戦終結後の国際社会の動向について、正しい説明はどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- アメリカとソ連がドイツを分断して統治することを決定し、ベルリンの壁が建設されたことで冷戦がより深刻化した。
 - 資本主義陣営の結束を強めるため、アメリカを中心に北大西洋条約機構(NATO)が結成され、経済援助であるマーシャル・プランが開始された。
 - 東西対立の構造は消滅したが、1990年にイラクのクウェート侵攻をきっかけとして湾岸戦争が発生するなど、新たな地域紛争が課題となった。
 - アメリカ、イギリス、ソ連の首脳が集まり、敗色が濃厚となった日本に対して無条件降伏を求める宣言を採択した。
- 問7 1920年から2020年にかけての日本の統計において、1930年頃に最も高い数値を示したものの、その後の公衆衛生の改善や医療技術の向上、水道設備の普及などによって急激に減少し、現在はほぼゼロに近い状態となっている項目として適切なものはどれか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
- 都市部への人口流入数
 - 大学の設置数
 - 鉄道の貨物輸送量
 - 赤痢による死者数
- 問8 1949年の中華人民共和国建国以降の国際的な出来事を、古い順に正しく並べたものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- 日韓基本条約 → アジア・アフリカ会議 → 香港返還 → ドイツ統一
 - アジア・アフリカ会議 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 → 香港返還
 - アジア・アフリカ会議 → 香港返還 → 日韓基本条約 → ドイツ統一
 - ドイツ統一 → 日韓基本条約 → 香港返還 → アジア・アフリカ会議
- 問9 1980年代後半から1990年代初頭にかけて、第二次世界大戦後の国際秩序が大きく変化し冷戦が終結した背景と結果について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- 西ドイツと東ドイツの間で武力衝突が激化したため、国際連合の仲裁によってベルリンの壁が取り壊され、冷戦が終結した
 - アメリカとソ連がキューバを巡って核戦争寸前の対立を起こした結果、双方が歩み寄り、冷戦が即座に終結した
 - ソ連が経済停滞を背景に改革や情報公開を進めたことで、東欧諸国で民主化運動が広がり、最終的にソ連自体も解体された
 - 社会主義陣営の結束を強めるためにワルシャワ条約機構が強化された結果、アメリカが歩み寄らざるを得なくなり冷戦が終わった
- 問10 「和食」は、自然を尊重する精神や、社会的な慣習と深く結びついた特徴を持っています。このような食文化を次世代へ継承するための取り組みとして、地域社会や家族のつながりを重視した具体的な事例はどれですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
- 効率性を重視し、すべての年中行事における食事を標準化された栄養補助食品に置き換えること
 - 正月などの年中行事において、家族や地域で特別な料理を困んだり共同調理を行ったりすること
 - 食文化の多様性を守るために、和食以外の西洋料理や中華料理を食べることを禁止すること
 - 伝統的な味を維持するために、家庭での調理を一切やめて専門の飲食店のみを利用すること
- 問11 1980年代末から1990年代初頭にかけての国際情勢の変化について、1989年にはユーラシア大陸北部の広大な領域を占めていた一つの国家が、1992年には複数の国境線で区切られた国々の集まりへと変化しました。この地図上の変化をもたらした歴史的事象として、最も適切なものはどれか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- ソビエト連邦(ソ連)の解体
 - ベルリンの壁の崩壊
 - 東欧革命の発生
 - ドイツの再統一
- 問12 江戸時代、幕府がキリスト教の禁止を徹底し、さらに貿易の利益を独占するために、「日本人の海外への渡航」や「海外に住む日本人の帰国」を禁止した一連の法令を何というか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- 武家諸法度
 - 異国船打払令
 - 鎖国令
 - 外交忌避令

答え合わせ・解説

問1	答え 3 東西ドイツの統一	1989年に東欧諸国で民主化運動が広がり、象徴的であったベルリンの壁が崩壊しました。これを受けて、翌1990年に東ドイツが西ドイツに吸収される形で、分断されていた国家が一つに統合されました。これは冷戦終結を象徴する歴史的な出来事です。
問2	答え 3 巨額の資金援助を行ったが、人的貢献がなかったことで批判を受け、後のPKO協力法制定の契機となった。	日本は湾岸戦争に際して130億ドルにのぼる多額の資金を提供しましたが、憲法上の制約などから人員の派遣を行わなかったため、国際社会から「金だけ出す姿勢」として厳しい批判を受けました。この反省から、国際的な平和維持活動に人的に貢献するための議論が高まり、1992年の「国際平和協力法（PKO協力法）」の制定へとつながりました。
問3	答え 2 提唱国であるアメリカが不参加であり、意思決定に全会一致を必要としたため、迅速な対応が難しかった。	国際連盟は、アメリカのウィルソン大統領が提唱したものの、アメリカ自身が議会の反対により加盟できませんでした。さらに、重要な議決には全会一致が必要であり、武力制裁の権限も持っていなかったため、後のドイツや日本の侵攻に対して実効性のある制裁を行えなかったことが大きな弱点でした。常任理事国の拒否権は、第二次世界大戦後に設立された国際連合の特徴です。
問4	答え 3 欧米の先進的な制度や文化を直接調査し、不平等条約の改正に向けた予備交渉を行うこと	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は急務の課題でした。岩倉使節団は、条約改正のための予備交渉と、日本の近代化に必要な西洋の優れた政治制度、教育、産業などを視察・吸収することを目的として派遣されました。他の選択肢は、それぞれ飛鳥時代、平安時代末期、昭和時代の事象に関するものです。
問5	答え 4 地球温暖化や廃棄物問題など、従来の公害の枠組みだけでは捉えきれない、地球規模の環境問題や循環型社会の構築を視野に入れた対策が求められたため	1960年代の日本では、高度経済成長に伴う地域的な公害（大気汚染や水質汚濁など）が深刻な社会問題となっており、それらを規制するために「公害対策基本法」が制定されました。しかし、1990年代に入ると、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨といった国境を越える地球規模の課題が顕在化したため、従来の公害対策を包含しつつ、より広く環境保全や国際協力を推進するための「環境基本法」へと発展的に解消・統合されました。
問6	答え 3 東西対立の構造は消滅したが、1990年にイラクのクウェート侵攻をきっかけとして湾岸戦争が発生するなど、新たな地域紛争が課題となった。	冷戦の終結により米ソ二大国による核戦争の脅威は後退しましたが、それまで抑えられていた民族紛争や宗教対立、地域紛争が表面化するようになりました。その象徴的な出来事が、マルタ会談の翌年に発生した湾岸戦争です。他の選択肢にあるベルリンの壁の建設（1961年）やNATOの結成（1949年）、ポツダム宣言（1945年）は、いずれも冷戦終結以前の出来事です。
問7	答え 4 赤痢による死者数	近代日本において、赤痢などの伝染病は深刻な社会問題でしたが、戦後の生活環境の劇的な改善によって克服されました。記述にある「1930年頃に最大値を記録し、その後ゼロに近づく」という推移は、感染症による被害が公衆衛生の向上とともに抑制されていった過程を正確に示しています。
問8	答え 2 アジア・アフリカ会議 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 → 香港返還	アジア・アフリカ会議は1955年、日韓基本条約の締結は1965年、ドイツの統一は1990年、香港の返還は1997年という順序で起こりました。これらはアジア諸国の自立、日本の戦後外交の進展、そして冷戦の終結とその後の秩序の変化を示す象徴的な出来事です。
問9	答え 3 ソ連が経済停滞を背景に改革や情報公開を進めたことで、東欧諸国で民主化運動が広がり、最終的にソ連自体も解体された	ソ連のゴルバチョフ政権による改革は、それまでソ連の強い影響下にあった東欧諸国の民主化を後押ししました。これにより1989年に東欧の社会主義体制が次々と崩壊し、1991年末にはソビエト連邦自体が解体されたことで、冷戦の対立軸そのものが消失しました。キューバ危機やベルリン封鎖は冷戦中の緊張が高まった出来事であり、終結の背景ではありません。
問10	答え 2 正月などの年中行事において、家族や地域で特別な料理を囲んだり共同調理を行ったりすること	和食は単なる料理の名称ではなく、正月や収穫祭といった年中行事と密接に関連し、地域の絆を深める役割を果たしてきました。こうした行事を通じた食事や、地域での共同調理の機会を持つことは、自然の恵みを分け合い、伝統的な知恵や文化を次世代へ伝える重要な手段となります。
問11	答え 1 ソビエト連邦（ソ連）の解体	第二次世界大戦後、アメリカ合衆国と並ぶ超大国として冷戦の一翼を担った社会主義国家が、1991年末に消滅した出来事を指します。この結果、広大な領土を統治していた中央政府がなくなり、ロシア連邦やウクライナ、中央アジアの諸国など、15の共和国がそれぞれ独立したことで地図上の国境線が大きく書き換えられました。
問12	答え 3 鎖国令	徳川家光の時代に、ポルトガル船の来航禁止などとともに完成された政策です。これにより、長崎の出島など特定の窓口を通じた管理貿易の体制へと移行しました。